

詩に親しもう!

～マルチメディア DAISY 図書を活用して～

知的障がい 中学部 課題学習
マルチメディア DAISY 図書の活用
資料の活用

※マルチメディア DAISY とは、音声と画像を同時に再生できるデジタル録音図書です。

ねらい

- 詩の内容を理解し、言葉からイメージを共有したり広げたりする。
- 詩の世界観を楽しむ。

学習展開 (詩の学習)

4つの“ミッション”という形で学習内容を構成する。

ミッション①

タイトルを隠しておき、あてはまる言葉を予想する。

【理解し、イメージの共有をする】

→DAISYの音声のみを聞き答えを知らせる。

ミッション②

なんにもしたくないとき、あなたならどうしますか。

【イメージを膨らませる・共感する】

ミッション③

この詩の最後に2行文章がかくれています。さて、ふじんはめしつかいになんと言ったでしょう。【流れを理解し、予想を立てる】

→予想を立てたあと、DAISYを視聴する。

ミッション④

めしつかいの返事を考えよう【イメージを膨らませ、詩の世界観を楽しむ】

◆司書教諭と学校司書の関わり

- 司書教諭は、単元の学習開始前に、学校司書に内容を伝えて選書の相談をする。
- 学習の最後に、司書による詩の朗読と詩集の紹介を行った。朗読では情景の感じられる同じ作者の『あさ／朝』『ゆう／夕』の詩集から一部抜粋し紹介した。

(詩全文) 谷川俊太郎『そして』より 「はくしゃくふじん」 全文

なんにもしたくないとき、
いようとおもって
おかねもちの はくしゃくふじんは
めしつかいを よんだ
なんにもおまえがやっておくれ といって
はくしゃくふじんは いすにすわったが
いすにすわれば いすにすわって
なんにもしないことには ならなかった
たちあがると はくしゃくふじんは たった
よこになると よこになっていた
ぼんやりすると ぼんやりしていた
なんにもしないのが とてもむずかしいので
めしつかいをよんで ふじんは いった
なんにもしたくないから
なにをすればいいか かんがえておくれ



学習の様子

★指導のポイント

- ① 4つの“ミッション”という形で学習内容を構成する。
- ② イメージを共有したり、広げたりすることにつながるようにイラストを入れる。
- ③ 視覚的支援として、スライドと、板書、ワークシートを用いる。
- ④ ミッションの中に DAISY を「聞く」ことでわかる問い、「目で追い、耳で聞く」ことでわかる問いを入れる。

資料

- ・谷川俊太郎自選詩集『そして』谷川俊太郎／作 2016／4 銀の鈴社
- ・谷川俊太郎自選詩集『そして』谷川俊太郎／作 2016／4 伊藤忠記念財団／製作
- ・『あさ／朝』谷川俊太郎／作 2004／7 アリス書房
- ・『ゆう／夕』谷川俊太郎／作 2004／11 アリス書房